

無線通信研究委員会

WP 6A

(ジュネーブ)

報告書

(案)

平成 25 年 4 月 16 日 ~ 平成 25 年 4 月 24 日

目次

1. まえがき	1
2. 会議の概要	5
2.1 会議の構成	5
2.2 主要結論.....	5
(1) 地上送信.....	5
(2) 保護.....	7
(3) 共用.....	8
(4) その他.....	8
3. 審議の内容	9
3.1 地上送信(SWG 6A-1)	9
(1) 音声・マルチメディア放送関連.....	9
(2) テレビジョン関連	13
3.2 保護(SWG 6A-2)	24
3.3 共用(SWG 6A-3)	28
(1) WRC-15 議題	29
(2) 共用検討のための方法	31
(3) 共用検討のための特性とパラメータ	32
(4) その他.....	33
3.4 その他(SWG 6A-4).....	33
4. あとがき	36
表 1 日本からの出席者 (5 名)	38
表 2 入力文書 (全 108 件)	38
表 3 出力文書一覧(全 38 件)	45

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第6研究委員会(SG 6:放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2013年4月16日(火)～4月24日(金) (8日間)
開催地・会場 : ITU本部 (スイス・ジュネーブ)
議長 : L. OLSON氏 (米)
副議長 : R. BUNCH氏 (豪)、M. HATE氏 (英)、
A.H. NAFEZ氏 (イラン)、L. ROCCHI氏 (伊)、
J. SONG氏 (中国)
登録者 : 39ヶ国+15機関から135名 (事務局除く)
日本より8名登録 (5名出席、表1参照)
入力文書 : 108件 (表2参照)
出力文書 : 38件 (表3参照)

SG6に提出:件

研究課題改訂案 : 1件

(1) ITU-R 136/6 「全世界的な放送ローミング」 (6A/TEMP/93)

新勧告案 : 1件

(1) ITU-R BT.[DTVRX] 「地上デジタルテレビジョンシステムの周波数プランニング用標準受信システムの特性」 (6A/TEMP/100)

レポート改訂案 : 4件

(1) ITU-R BT. 2209 「ISDB-T方式のSFN受信と標準受信機特性のための計算モデル」 (6A/TEMP/87)

(2) ITU-R BS. 2213 「VHF帯地上FM音声放送送信におけるオーディオ信号処理と圧縮技術の影響」 (6A/TEMP/94)

(3) ITU-R BT. 2140 「アナログからデジタルへの地上放送の移行」 (6A/TEMP/80)

(4) ITU-R BT. 2247-1 「DTTB (地上デジタルテレビジョン放送) とIMT (国際移動通信) の両立性に関する野外測定と分析」 (6A/TEMP/103)

オピニオンの削除 : 1件

(1) ITU-R 15-3 「26 MHz帯の放送」、ITU-R 16-3 「音声とTV放送の録音録画に関する標準を定めることに適任な組織」 (6A/TEMP/83)

リエゾン文書：12件

- (1) ITU-D SG2 へ（ITU-T災害救助システムとネットワーク復旧に関するフォーカスグループ（FG-DR&NRR）へは情報としてコピー）のリエゾン文書「大衆向け緊急情報のためのラジオ及びテレビジョン放送の重要性に関するITU-R WP6Aレポートの開発」（6A/TEMP/81）
- (2) ITU-R WP5Bへのリエゾン文書「12.2～12.5 GHz周波数帯における放送システムから無人航空機システムへの干渉可能性の検討」（6A/TEMP/95）
- (3) ITU-R WP3Lへ（ITU-R WP5Cへコピー）のリエゾン文書「勧告ITU-R P.842の修正提案」（6A/TEMP/97）
- (4) ITU-R WP3Kへのリエゾン文書「短期干渉信号の相関に関するコレスポンデンスグループ3K-4の作業報告への返答」（6A/TEMP/101）
- (5) JTG 4-5-6-7 へ（ITU-R WP1AとWP5Dへは情報としてコピー）のリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 におけるIMTアップリンクと地上デジタルテレビジョン放送との隣接帯両立性」（6A/TEMP/104）
- (6) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 における広帯域移動アップリンクと地上デジタルテレビジョン放送との隣接帯両立性」（6A/TEMP/105）
- (7) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 におけるSAB/SAPの共用検討パラメータ」（6A/TEMP/109）
- (8) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 における放送業務のための周波数要求」（6A/TEMP/110）
- (9) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 における放送業務と移動業務間の共用と両立性検討のための地上デジタルテレビジョン放送の技術及び運用パラメータ」（6A/TEMP/114）
- (10) ITU-T SG5 とITU-R WP1Aへ（ITU-R WP1C、WP5A、WP5B、WP5Cへは情報としてコピー）のリエゾン文書「有線・無線通信システムの共存」（6A/TEMP/106）
- (11) ITU-R WP1Aへ（ITU-R WP5A、WP5B、WP5CとITU-T SG5、SG9、SG15 へは情報としてコピー）のリエゾン文書「G.FAST及びJ.HINOCの下で開発されている有線通信システムに関する考察」（6A/TEMP/107）
- (12) 「事務局長からのSG6に対する文書への返答」（6A/TEMP/112）。

継続審議：18件

新勧告草案：1件

- (1) ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」（6A/TEMP/98）

勧告改訂草案：4件

- (1) ITU-R BT.1735-1 「勧告BT.1306 に規定されたシステムBの地上デジタルテレビジョン放送信号の受信品質の客観的評価方法」 (6A/TEMP/84)
- (2) ITU-R BT.1368-10 「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」 (6A/TEMP/85)
- (3) ITU-R BT.1306-6 「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」 (6A/TEMP/89)
- (4) ITU-R BT.1871 「ワイヤレス・マイクロフォンのユーザ要求条件」 (6A/TEMP/102)

新レポート草案：4件

- (1) ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] 「既存の共同受信システムのヘッドアンプにおけるIMTシステムの影響に起因する放送業務に対する干渉評価に対する勧告ITU-R BT.1895 と関連するレポートITU-R BT.2265 の適用例」 (6A/TEMP/77)
- (2) ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] 「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」 (6A/TEMP/88)
- (3) ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] 「470-790MHz帯におけるコグニティブ機器から放送サービスへの干渉検討」 (6A/TEMP/108)
- (4) ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] 「第1地域の694-790MHz帯における地上デジタルテレビジョン放送の周波数要求」 (6A/TEMP/111)

レポート改訂草案：1件

- (1) ITU-R BT.2252 「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」 (6A/TEMP/86)

作業計画：1件

- (1) WRC-12 決議と勧告に関連した研究の作業計画のアップデート (6A/TEMP/113)

ラポーター／ラポーターグループ設置：3件

- (1) 大衆向け緊急情報の提供における地上放送の重要性に関するラポーターの設置 (6A/TEMP/79)
- (2) 全世界的な放送ローミングのための消費者向け受信機の主要機能に関するラポーターグループの設置 (6A/TEMP/92)
- (3) デジタル音声放送システム、実施事例及び移行政策を検討するラポーターグループの設置 (6A/TEMP/96)

作業文書：4件

- (1) 新レポート草案ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] 「地上デジタルテレビジョン放送システムの測定に関するガイドライン」に向けた作業文書（6A/TEMP/90）
- (2) 新レポート草案ITU-R BT.[DTB] 「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書（6A/TEMP/91）
- (3) 新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] 「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」に向けた作業文書（6A/TEMP/99）
- (4) 新勧告（レポート）草案ITU-R BT.[HEAD-AMP] 「放送業務への干渉検討に使用する柱上に設置する参照増幅器」に向けた作業文書（6A/TEMP/78）

その他：1件

- (1) 議長レポートへ提供するための3つの文書

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の4つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)構成で審議にあたった。

SWG 6A-1	地上送信	議長：A. Nafez氏（イラン）
SWG 6A-2	保護	議長：M. Hate氏（英）
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏（豪）
SWG 6A-4	その他	議長：M. Mullinix氏（米）

2.2 主要結論

(1) 地上送信

- ・新勧告案ITU-R BT.[DTVX]「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング用標準受信システム特性」

地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニングのための標準受信システム特性を規定することを目指した新勧告案。SWGでは、前会合後に承認された新勧告ITU-R BT.2033「VHF/UHF帯第2世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」を参照するconsideringの修正（CBS提案）、第1地域とイランにはGE06の合意があることを示すconsideringの追記（EBU提案）、DVB-T、DVB-T2について受信形態毎のパラメータを追記（露提案、EBU提案）、隣接チャンネル抑圧特性とSFNに関連する性能を含むISDB-Tに関するパラメータの追記（日本提案）、アンテナ特性など全システムで用いることができるパラメータを共通化（日本提案）することを承認し、Annex 1に共通パラメータ、Annex 2に第1世代地上デジタル放送（ATSC、DVB-T、ISDB-T）の標準受信システム特性、Annex 3に第2世代地上デジタル放送（DVB-T2）の標準受信システム特性を記載する出力文書（6A/TEMP/100）をまとめた。プレナリーはこの出力文書を承認し、新勧告案としてSG6へ送付した。

- ・勧告BT.1368-10「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂案

地上デジタルテレビジョンサービスのプランニング基準を規定する勧告ITU-R BT.1368-10の改訂草案。日本提案により、Annex 3（ISDB-T）に記載のISDB-T 6MHzシステムの隣接混信保護比の値を修正するものである。勧告ITU-R BT.1368に記載の基準に従って、入力レベル-60dBmで測定された値を記載していた。測定系の設定の問題で、隣接波が過入力状態で測定され、本来の混信保護比（日本国内基準と同様）とは異なる高い値が記載されていた。適切な設定を行えば過入力となることはなく、本来の値（日本国内基準）が得られる。異論なく承認となったが、前会合で勧告ITU-R BT.1368-9を改訂した

ばかりであることから、今会合では勧告改訂草案としての承認とした。議長レポート添付とし、次会合で上申する。

- ・ レポートBT.2209「ISDB-T方式のSFN受信と標準受信機特性のための計算モデル」の改訂案

勧告ITU-R BT.1368では対象とされていないSFN受信に関する詳細な計算モデルをISDB-Tについて記述するレポートITU-R BT.2209の改訂案。多波のSFN受信、SFN環境下の隣接チャンネル干渉耐性などレポート化後の継続検討で得た有用な情報を反映する修正（日本提案）である。改訂案として承認し、SGへ送付した。

- ・ 勧告ITU-R BT.1306-6「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」の改訂案

勧告ITU-R SM.1541「帯域外領域における不要放射」を帯域外放射（OoB）の一般的なマスクを規定するものとする一方、勧告ITU-R BT.1206「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」を周波数使用条件によって必要とされるシステム毎の特定マスクを記載する勧告ITU-R BT.1206の改訂案が2013年1月に承認された。この改訂を受け、勧告ITU-R BT.1206を参照するパラメータ（channel occupancy）を修正する地上デジタルTV放送の伝送システムに関する勧告ITU-R BT.1306の改訂草案。ISDB-Tでは勧告ITU-R SM.1541と勧告ITU-R BT.1206の両方を参照する（日本提案）とした。

一般マスクである勧告ITU-R SM.1541の記載は不要とするSWG議長と中国の異議により、次会合での寄与（勧告ITU-R BT.1206の再改訂提案も含む）を考慮するとして継続審議（議長レポート添付）とした。

- ・ 新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」

移動受信向け地上マルチメディア放送の伝送システムに関する勧告ITU-R BT.2016に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告。勧告ITU-R BT.2016に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告ITU-R BT.[ETMMPLAN]の修正提案とその審議が行われた。前会合で提案したGeneralにおける考え方に従って修正を行った。DG1では、TBDとしていた標準受信機の特性を各Annexで提供するものと明記し、Editorial Noteを記載していた場所率について補足するGeneralの修正（日本提案）、Annex1のT/AT-DMBに関するプランニング基準の値を新しい試作受信機で得た値に更新する修正（韓国提案）と、Generalの定義に従い、Annex2のISDB-Tマルチメ

ディアの標準受信特性を定義して、同一チャンネル混信保護比と最小電界強度の導出を記載する修正（日本提案）を承認し、出力文書（6A/TEMP/98）を作成した。プレナリーは、出力文書を新勧告草案として承認（議長レポート添付）した。なお、システムH（DVB-H）、システムI（DVB-SH）、システムT2（DVB-T2 システムのT2 Liteプロファイル）に関する情報が入力されなくても、次会合でSG6へ送付する予定である旨を議長レポートに記載することとした。

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ISDBT_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」

ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整など、デジタル中継局のネットワーク構築に関して、日本の経験をまとめることを目指す新レポート草案。今会合では、中継システムのリンク品質や回線設計などの追記（日本提案）が行われた。新レポート草案とした上で、衛星による番組配信を行っている主管庁からの寄与を求めるため、継続審議（議長レポート添付）とした。

- ・新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書

音声・テレビジョン・マルチメディア等の地上デジタル放送システムを1つの文書に併記する新レポート案。ラポータグループ提案による、新レポート草案の構成の見直し、各システムのパラメータの比較表の修正、システム毎の簡単な説明と関連勧告への参照の記載が審議され、比較表の空欄を埋めるため、ラポータグループ議長は、更なる協力を依頼した。作業文書としての審議継続とし、議長レポート添付とした。ラポータグループ活動を継続。

(2) 保護

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ASSESEDTTBCRS]「470-790MHz帯におけるコグニティブ機器から放送サービスへの干渉検討」に向けた作業文書

CBSは、DTTB System A（ATSC）とコグニティブ無線機器との干渉検討結果、コグニティブ無線機器からCATV網や受信機への干渉に関する情報を同新レポート草案に追記することを提案。露は、コグニティブ無線機器からCATVへの干渉評価結果、ITU-RレポートBT.2265を用いたDVB-Tとコグニティブ無線の必要な離隔距離と混信保護比に関する検討結果を同新レポート草案に反映することを提案。前回の議長レポートに、CBSと露の提案をマージし、新レポート草案として議長レポート添付された。

(3) 共用

- ・ レポートBT.2247-1「DTTB（地上デジタルテレビジョン放送）とIMT（国際移動通信）の両立性に関する野外測定と分析」の改訂提案

情通審「700MHz帯を使用する移動通信システムに係る干渉検討」のうち、TV放送に関わる部分について、ISDB-TとIMTの日本国内の検討結果としてITU-RレポートBT.2247 への追記を提案。レポート改訂案が承認され、SG6 へ送付された。

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 における放送業務と移動業務間の共用と両立性検討のための地上デジタルテレビジョン放送の技術及び運用パラメータ」（6A/TEMP/114）

WRC議題 1.1 における放送業務とLTEの共用・両立性検討に必要なパラメータを記載したリエゾン文書が作成された。この文書にはシステムA（DVB-T）、B（ATSC）および次世代デジタル放送（DVB-T2）のLTEとの混信保護比、過入力しきい値などが記載された。システムC（ISDB-T）の情報も記載した方が良いとの提案があり、次回SG6 会合を目途に寄与文書提出を検討することとなった。

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 における広帯域移動アプリケーションと地上デジタルテレビジョン放送との隣接帯両立性」（6A/TEMP/105）

WRC-15 議題 1.2 においても議題 1.1 における 6A/TEMP/114 同様、DVB-T、DVB-T2 とLTE携帯端末（UE）間混信保護比および過入力しきい値がJTG4-5-6-7 へリエゾン文書として送付されることとなった。

(4) その他

- ・ 非常災害時の地上放送の重要性に関するラポータが設置され、次会合に寄与を求められた。審議の中で福島での災害に関するコメントもあり、日本からの寄与も期待されている。

3. 審議の内容

3.1 地上送信(SWG 6A-1)

SWG 6A-1 では、TV関連はSWG 6A-1 で審議を行い、音声・マルチメディア放送についてはDG(ドラフティンググループ)を作って審議した。

SWG1 DG1	Sound and Multimedia	議長：J. Song氏（中国）
----------	----------------------	-----------------

6 回のSWGセッションと 3 回の音声・マルチメディアのDGセッションで、39 件の入力文書を審議し、18 件のTEMP出力を承認した。1 件の研究課題改訂案、1 件の新勧告案、2 件のレポート改訂案、3 件のリエゾン文書、3 件のラポータ・ラポータグループ設置を含む 11 件の議長レポート添付文書を出力した。

(1) 音声・マルチメディア放送関連

○デジタル音声放送

- ・新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION]に向けた作業文書

入力文書：6A/220（伊，バチカン），6A/228（露），6A/249（DRM）

出力文書：6A/TEMP/96（ラポータグループ設置），

6A/TEMP/99（議長レポート添付）

審議結果：

地上デジタル音声放送やマルチメディア放送への移行を扱う新レポートITU-R BS.[DSB-TRANSITION]「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」並びにラポータグループ設置の審議である。

伊・バチカン（6A/220）は、FMが混雑した状況にあるローマでバチカンラジオが実施したDRM+の調査結果を報告した。DRM+の良好な特性とともに、既存アンテナシステムが利用可能、サービスエリアに変更がないので地方の放送事業者が利用可能、SFNも可能といったメリットを紹介している。

露（6A/228）は、夜間、日中の都市部や地方部、地上伝搬や上空波伝搬を含むフェージングゾーンにおいて中波帯で実施したDRMの受信調査の結果を報告し、レポートITU-R BS.2144「30MHz未満の周波数帯におけるDRM放送のプランニングパラメータとカバレッジ」に反映する改訂を提案した。今会合では議長レポート添付を希望した。

DRM（6A/249）は、デジタル音声放送への移行に関する報告を行った。DABに関してコスト面などネガティブな意見も述べている。DRMコンソーシアムでは、音声放送のデジタル化が聴取者にもたらす利益について、技術的な因子と経済的な因子を取り上げている。DRMシステムへの移行が聴取者に利益をもたらすことに自信があるとしながら、ITU-Rには他のシステムもあるので、音声放送のデジタル化の進捗に係る新レポートの開発を提案した。

関係者のオフラインでの議論の結果、新レポートITU-R BS.[DSB-TRANSITION]「デジタル音声放送への移行のための実施検討」を開発することとし、3件の寄書（6A/220、6A/228、6A/249）を反映することとなった。さらに、「地上放送」、「マルチメディア放送」の視点を入れ、タイトルを「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」と修正した。また、DG議長のどのようにしてFMから移行するという観点と、DRMの移行に限らず、他のシステム、IBOCなど他のシステムも対象とすべきとする米の意見を入れてラポータグループを設置することとした。

新レポート草案BT.[DSB-TRANSITION]は、地上デジタル音声放送と地上マルチメディア放送の実施と移行を扱う。新レポート草案に向けた作業文書では、一般的な紹介とレポートの必要性を記載し、各AnnexにDRM、HD Radio（IBOC）そしてDABを記載する。議長レポート添付として承認した。

デジタル音声放送を検討するためのラポータグループは、その設置が承認され、DRM（Shaw氏）を議長に指名した。

○地上マルチメディア放送のプランニング基準

・新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]

入力文書：6A/170/Annex4（前回議長レポート）、
6A/224（韓国）、6A/232（日本）

出力文書：6A/TEMP/98（議長レポート添付）

審議結果：

勧告ITU-R BT.2016 に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」の審議である。

6A/170A4（Chair WP 6A）

前回議長レポート（6A/170/Annex4）は、地上マルチメディアのプランニング基準の新勧告草案に向けた作業文書であり、前会合（2012年10月会合）での日本と韓国の寄与による。

韓国（6A/224）は、前会合で入力したAnnex1のT/AT-DMBに関するプランニング基準の値を新しい試作受信機で得た値に更新することを提案した。また、周波数オフセットに対する混信保護比を追記した。最小電界強度の単位をdBmからdB μ Vに変更した。

日本（6A/232）は、前会合で提案したGeneralにおける考え方に従って修正を行った。Generalでは、TBDとしていた標準受信機の特性を各Annexで提供するものと明記した。Editorial Noteを記載していた場所率について補足記載した。続いてGeneralの定義に従い、Annex 2のISDB-Tマルチメディアの標準

受信特性を定義するとともに、同一チャンネル混信保護比と最小電界強度の導出を記載する修正を提案した。

個々のAnnexの承認の後、全システムに関わるGeneralの審議を行った。3節の他のパラメータに記載した「場所率」に関し、勧告ITU-R P.1546 の分散値 5.5dBの記述に加え、「場所率の値に基づき補正值が提供される」ことが追記された。さらに、混信保護比の記載に関し、日本や韓国では「D/U」が使用されるが、欧米では「C/I」が一般的である。英の提案により、この「D/U」による表現を補足する記述が追記された。

出力文書（6A/TEMP/98）は、韓国と日本の寄書（6A/224、6A/232）をマージしたものである。作業文書を取り、新勧告草案として議長レポート添付とすることを承認した。

なお、SWG議長（A. Nafez氏）の指摘により、システムH（DVB-H）、システムI（DVB-SH）、システムT2（DVB-T2 システムのT2 Liteプロファイル）に関する情報が入力されなくても、次会合でSG6 に送付することを想定していると議長レポートに記載することとした。

○その他

- ・ 勧告ITU-R P.842 の将来の改訂に関するWP3Lへのリエゾン文書

入力文書：6A/171(WP5C), 6A/203 (HFCC)

出力文書：6A/TEMP/97 (リエゾン文書)

審議結果：

勧告ITU-R P.842「HF無線システムの信頼性と互換性の計算」は、HF帯無線システム設計に用いる信頼性と共用検討のための予測手法が記載されている勧告である。

勧告ITU-R P.842 を所掌するWP3Lは、その 2012 年 6 月会合後に、同勧告の改訂の必要性を問うリエゾン文書をWP6AとWP5Cへ送付していた(6A/97)。

WP6Aは、2012 年 10 月会合では、これを情報としNotedとしていた。

一方、WP5C(6A/171)は、これに回答し、WP5Cは関心があり、メンバにこれに寄与を呼びかけるとした。さらに、WP3L、WP6A、WP5Bに対し、勧告ITU-R P.842 の改訂に有用として、現在WP5Cが取り組んでいる勧告ITU-R F.339「HF帯固定・陸上移動無線通信システムの帯域、SN比とフェージング耐性」の改訂案及び新レポート案ITU-R F.[HF-Network Reliability]「HF帯固定業務のアダプティブ・ネットワークの信頼性計算」の情報を提供した。

HFCC（短波放送の地域調整グループ）（6A/203）は、勧告ITU-R P.842 の将来的な修正では「放送の信頼性」をより実用的に定義すべきとし、「エリア信頼性」の注意書きに次の内容を含むNOTE7 を追加する提案をした：

- ・多くの短波放送事業者は、カバレッジの割合はカレンダー一月の（時間率）90%において所要最小電界強度に達するか超えるサービスエリアの範囲とする、より実用的な「放送の信頼性」の定義を望む。
- ・DRMの場合は、カレンダー一月の 99%において所要最小電界強度に達するか超えるサービスエリアの範囲とする。

短波国際放送のエリア時間率は、放送対象となる地域によって状況が異なり、各主管庁や各放送事業者によって決定されているが、時間率 90%を明記することで放送エリアが一律に規定されてしまう懸念がある。DGでは、HFCC（Gary Stanley氏）と日本が議論し、HFCCは勧告ITU-R P.842 の新しい改訂案とリエゾン文書を作成した。改訂案は、HFCCの寄書（6A/203）からアナログラジオに関する具体的な時間率の記述を削除し、「所定の割合」としたものである。

勧告ITU-R P.842 の改訂案を添付したリエゾン文書案（6A/TEMP/97）を、WP3Lへ送るリエゾン文書として承認した。WP5Cにはコピーとした。

- ・FM音声放送における超過MPX電力の干渉に対する保護レベル

入力文書：6A/248（仏）

出力文書：6A/TEMP/94（SG6 送付）

審議結果：

勧告ITU-R BS.412-9「VHF帯地上FM音声放送のプランニング基準」には、MPX（Multiplex）電力が制限を超えるときにはFM送信機のRF出力レベルを下げる事が記載されているが、具体的な混信保護比の変化に関する数値の記載はない。そのため、この勧告ITU-R BS.412-9 の改訂草案に向けた作業文書（6A/439）が入力されていた。しかし、仏は、勧告の改訂は必要としながらも、十分な実験データがないため、さらに検討が必要であるとしてきた（6A/485）。そこで、仏は、2012年10月会合で、タイプ（固定、可搬、移動、車載）の異なる26台の受信機を用意して実験を行っていることを報告した（6A/145）。

今会合で仏（6A/248）は、2012年10月会合で紹介していた26台の受信機で仏が実施した実験の結果を報告した。MPX電力が5dBrを超えない場合には、勧告ITU-R BS.412-9の表3（stereophonic mode、steady interference）に記載の値が妥当であり、5dBrを超える場合には、寄書（6A/248）に記載の表2の値に従いRF送信出力を下げる必要があるとしている。

仏は、現状の結果では勧告改訂提案をするレベルではないとし、寄書（6A/248）をレポート ITU-R BS. 2213「VHF帯地上FM音声放送送信におけるオーディオ信号処理と圧縮技術の影響」に反映する改訂案とすることを提案した。新設のAnnex 2及びそのAppendixに収録することとした。

レポート改訂案として承認し、SG6 送付とした。

(2) テレビジョン関連

○地上デジタル放送

・研究課題 136/6「全世界的な放送ローミング」の改訂案

入力文書：6A/196（伊，バチカン）

出力文書：6A/TEMP/93（SG6 送付），6A/TEMP/92（ラポータグループ設置）

審議結果：

伊，バチカン（6A/196）は、勧告ITU-R M.1224「国際移動通信（IMT）の用語リスト」にある「ローミング」の定義を考えると、研究課題 136/6「全世界的な放送ローミング」の脚注 3 にある「全世界的な放送ローミング」の定義「1 台の受信機で行う世界中のそれぞれの地域で提供されるTV、音声、マルチメディア放送の受信」では不十分であるとし、「プラットフォームによらず番組が提供されているところではどこでも受信できる」と修正する提案をした。また、携帯性、マルチモード性、利便性といった消費者向け受信機の主要機能、要求条件を取りあげるとともに、その内容を確認する作業が必要であるとした。利便性のうち番組に関する情報の受信者への提供のため、WP6Aの検討状況をWP6Bへ伝える一方、WP6Bには必要なメタデータを確認してもらうことを提案し、この検討のためラポータグループの設置を求めた。

SWGでは、互換性のないシステムにわたって世界中どこでも放送波を受信できるようにするというのは現実的ではないとして、米が審議の中止を求めたが、既存の定義にあるanyは「どこでも」であり、提案は定義をより良くするものであり、審議に特に大きな問題は提出されていないとした。

「全世界的な放送ローミング」の定義の修正案を研究課題 136/6 の改訂案として承認し、SG6 へ送付した。

一方、ラポータグループに関しても、「全世界的な放送ローミング」用消費者向け受信機の望ましい機能に関するコメントを収集するTerms of Referenceを承認し、その設置を承認した。ラポータグループの議長は露（Dvorkovich氏）を指名した。なお、WP6Bとの連携が必要であるため、ラポータグループ設立について、適当な手段でのWP6Bへの周知が必要とした。

・研究課題ITU-R 136/6「全世界的な放送ローミング」の改訂案

入力文書：6A/256（ルワンダ）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ルワンダ（6A/256）は、研究課題ITU-R 136/6 の世界的な“受信機”の放送

ローミングは重要と考え、この分野の研究の継続を支持し、その装置生産のガイドラインとなる勧告やレポートをWP6Aが開発することを支援するとした。

ルワンダから、この寄書（6A/256）の説明をWP6Bで行う予定としたため、WP6AではNotedとした。

○伝送システム

・勧告改訂草案ITU-R BT.1306-6

入力文書：6A/234（日本）

出力文書：6A/TEMP/89（議長レポート添付）

審議結果：

勧告ITU-R SM.1541「帯域外領域における不要放射」を帯域外放射（OoB）の一般的なマスクを規定するものとする一方、勧告ITU-R BT.1206「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」を周波数使用条件によって必要とされるシステム毎の特定マスクを記載する勧告ITU-R BT.1206 の改訂案が2012年10月会合において仮採択され、2013年1月に承認された。

日本（6A/234）は、勧告ITU-R BT.1306「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」のchannel occupancyの記述を、勧告ITU-R BT.1206 の改訂に伴い修正する提案をした。ISDB-Tでは勧告ITU-R SM.1541 並びに勧告ITU-R BT.1206 の両方を参照することとした。

これに対し、中国はDTMBの表の6MHzと7MHzにある勧告ITU-R BT.1206 の参照削除（DTMBのマスクの規定が8MHzのみである）に異議を唱えた。

SWG議長も勧告ITU-R SM.1541 は一般マスクであり、記載は不要としたため、勧告ITU-R SM.1541 の記載を残したい日本と議論が平行線となった。

SWG議長の認識では、勧告ITU-R BT.1206 の特定マスクは地上デジタルテレビシステムに特定のマスクであり、2つの勧告の参照は混乱を招くものとするものであった。中国も次会合で6MHzと7MHzのマスクを勧告ITU-R BT.1206 に入力するとした。

なお、中国の提案により、勧告改訂草案では参照の表記をBT.1206 and SM.1541 からBT.1206 or SM.1541 と修正している。

勧告ITU-R BT.1206 の再改訂提案も含む次会合での寄与を考慮するとして議長レポート添付（継続審議）とした。

・新レポート草案ITU-R BT.[DTB]に向けた作業文書

入力文書：6A/170/Annex9, 6A/170/Annex12（前回議長レポート）,
6A/257（ラポータグループ）

出力文書：6A/TEMP/91（議長レポート添付）

審議結果：

2012年10月会合において、露は、4月会合での提案（6A/35）に続き、音声・テレビジョン・マルチメディアといった様々な地上デジタル放送を1つにまとめて記述する新勧告草案に向けた骨子の提案を行った（6A/114）が、審議の結果、地上デジタル放送システムの最新情報を記載し、方式選択のガイドラインを目指した新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書として検討を進めることとした（6A/170 Annex 9）。

今会合において、ラポータグループ（6A/257）は、この改訂提案をした。構成を見直し、各システムのパラメータの比較表とシステム毎の簡単な説明及び関連勧告への参照を記載するものとした。

ラポータグループ議長は、比較表を埋めるための協力を依頼した。

表の空欄がまだ埋まっていないため、日本は作業文書としての審議継続を求めた。議長レポート添付とした。

なお、SWGでの審議中、IntroductionにIntegrated Broadcast Broadbandを追記した。また、MVDSに関する追記を求めるEditorial Noteを記載した。

○プランニング

・新勧告案ITU-R BT.[DTVRX]

入力文書：6A/170/Annex2（前回議長レポート），
6A/208（CBS），6A/227（露），6A/230（日本），
6A/244（EBU）

出力文書：6A/TEMP/100（SG6送付）

審議結果：

前回議長レポート（6A/170/Annex2）は、地上デジタル放送の周波数プランのための標準受信システムの特性的新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性」である。2012年10月会合（前会合）で、Annex 1に第1世代地上デジタル放送（ATSC及びDVB-T）の、Annex 2に第2世代地上デジタル放送（DVB-T2）の標準受信システムのパラメータ（雑音指数、C/Nなど）を記載するものとした。なお、EBUは、3つの受信形態（固定、携帯、移動）に応じたDVB-T、DVB-T2のパラメータを検討すべきとしていた（6A/153）。

CBS（6A/208）は、前会合後に承認された新勧告ITU-R BT.2033「VHF/UHF帯第2世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」を参照するようにconsideringの修正を提案するとともに、この新勧告の重要性を唱え早期の勧告承認を要請した。

露（6A/227）は、前会合のEBU（6A/153）提案を受け、DVB-T2 について異なる受信形態に対応するパラメータを提案した。

EBU（6A/244）は、前会合での提案（6A/153）どおり、レポートITU-R BT.2254「DVB-T2 の周波数・ネットワークプランニングの概況」に基づき、固定、移動、携帯受信を考慮したDVB-T及びDVB-T2 のパラメータを提案した。さらに、第 1 地域とイランにはGE06 の合意があることを示すconsideringの追記を提案した。プランニング基準そのものを記載した箇所については、日本の指摘により修正することとなった。さらに、SWG議長（Nafez氏）が標準受信機特性にACS（隣接チャンネル選択性）を含むことを求めたため、EBUは検討を行った。

日本（6A/230）は、隣接チャンネル抑圧特性とSFNに関連する性能を含むISDB-Tに関するパラメータの追記を提案した。また、アンテナ特性など全システムで用いることができるパラメータを共通化する提案をした。SWGはこの提案を承認し、新Annexを設けて記載（Annex 2 に第 1 世代地上デジタル放送、Annex 3 に第 2 世代地上デジタル放送に繰り下げ）することとした。

DGを設置してオフラインでまとめた出力文書（6A/TEMP/100）を承認し、新勧告案としてSG6 へ送付した。

・ 勧告改訂草案ITU-R BT.1368-10

入力文書：6A/231（日本）

出力文書：6A/TEMP/85（議長レポート添付）

審議結果：

日本(6A/231)は、勧告ITU-R BT.1368「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂を提案した。ISDB-T 6MHzシステムの隣接混信保護比の値を修正するものである。

勧告ITU-R BT.1368 に記載の基準に従って、入力レベル-60dBmで測定された値を記載していたが、測定系の設定の問題で、隣接波が過入力の状態で測定されたものであった。そのため、本来の混信保護比(日本国内基準と同様)とは異なる高い値となっているが、適切な設定を行えば過入力となることはなく、本来の値が得られることから行う修正である。

特段の異論なく承認となったが、前会合で改訂されたばかりであることから、今会合では勧告改訂草案としての承認とした。議長レポート添付とし、次会合で上申する。

なお、JTGには訂正した値を記載することになる旨、英よりコメントがあった。

○中継局ネットワーク構築

・ 新レポート草案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]

入力文書：6A/170/Annex11（前回議長レポート），6A/236（日本）

出力文書：6A/TEMP/88（議長レポート添付）

審議結果：

前回議長レポート（6A/170/Annex11）は、2012年10月会合より審議を開始した、日本提案によるISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整などの日本の経験をまとめた、デジタル中継局のネットワーク構築に関する新レポート草案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」に向けた作業文書である。

今会合では、日本(6A/236)は、中継システムのリンク品質や回線設計などの追記提案を行った。

日本は、日本からの寄与は終了したが、衛星による番組配信を行っている主管庁からの寄与を求めため、継続審議とすることを求めた。

新レポート草案として議長レポート添付を承認した。

○カバーエリアの客観評価関連

・ 勧告改訂草案ITU-R BT.1735-1

入力文書：6A/170/Annex5（前回議長レポート），6A/214（豪）

出力文書：6A/TEMP/84（議長レポート添付）

審議結果：

勧告ITU-R BT.1735「勧告ITU-R BT.1306で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」は、アナログテレビジョンのカバーエリア評価の際に用いている受信品質の5段階の評価に準じて、デジタルテレビジョン（DVB-T）においても5段階あるいは3段階の受信品質の客観的評価方法を提供するものである。

前回議長レポート（6A/170/Annex5）は、豪寄書（6A/103）に基づき勧告ITU-R BT.1735-1のエディトリアル修正を提案するものである。

豪の実情に基づき、Annex 1の第2節に記載の「送信サイトでのMER値が決められた値、例えば36dB、を下回る場合には、測定をやめる」から「例えば36dB」という事例部分を削除し、関連する脚注を修正している。

豪（6A/214）は、豪の主管庁が定める3つの業務クラス（親局、中継局、リピータ）とそのターゲットMERを示し、議長レポートに添付されている改訂案（6A/170/Annex5）に次の文章を追加する修正を提案した。「主管庁の中には、送信業務の種別により異なるクラスのMER特性がありうるとされてきた」。

SWGでは、36dBを削除する修正だけでなく、送信業務のクラス分けとターゲットMERに関する表を改訂案に加えることとした。また、脚注の内容を見

直した。

改訂は承認されたが、豪が他の主管庁の評価と確認を待つことを希望したため、勧告改訂草案として、議長レポート添付とした。

・ レポート改訂草案ITU-R BT. 2252

入力文書：6A/170/Annex6(前回議長レポート), 6A/214 (豪)

出力文書：6A/TEMP/86 (議長レポート添付)

審議結果：

レポートITU-R BT.2252「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」は、勧告ITU-R BT.1735-1「勧告ITU-R BT.1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」に関連した具体的な事例を扱うレポートである。

2012年10月会合において、豪は、2.2.3節を同じ2章のAnnex Aに移動することとAnnex BとCを追加して情報の更新を行うことを提案(6A/105)し、これが前回議長レポートに添付されていた(6A/170/Annex6)。

豪(6A/214)は、今会合においても追加の野外測定結果を寄与し、レポートITU-R BT.2252の2.2.3節にAnnex Dとして反映することを提案した。

レポートITU-R BT. 2252の改訂草案の審議は、勧告改訂草案ITU-R BT.1735-1の審議と同じの豪の寄書(6A/214)を元にしており、勧告の審議の中心話題であるMERのクラス分けの根拠とする事例を提供していることから、同時に審議した。

豪が他のシステムからの寄与を待つことを希望したため、レポート改訂草案として議長レポート添付とすることを承認した。

ODTTBハンドブック

・ 地上デジタルテレビジョン放送の測定に関するガイドライン

入力文書：6A/238, 6A/239, 6A/240, 6A/241 (ウクライナ)

出力文書：6A/TEMP/90 (議長レポート添付), (議長レポート記載)

審議結果：

ウクライナ(6A/238, 6A/239, 6A/240, 6A/241)は、リモート参加により、地上デジタルテレビジョン放送(DTTB)の測定ガイドラインを提供する新レポートの作成を提案し、作業文書を4つの寄与に分けて入力した。

新レポートは、DTTBシステム全体(end-to-end)の品質をモニタリングするため、OSIモデルを参考に全体を複数のクラスに分けて、測定項目や測定方法に関するガイドラインを作成することを目指している。

最初の文書(6A/238)は、新レポートの目次を提供している。1章序論、2章測

定と監視の原則、3章MPEG-2 TSのベースバンド測定と解析、4章Non-MPEGストリームのベースバンド測定と解析、5章DTTBのシステム測定と解析、6章DTTBのネットワーク測定と解析、を記載する構成とした。また、1章、2章、3章、5章のたたき台を提供した。

2番目の文書(6A/239)は、5.6.1節への入力である。第5章5.6節はRF・IF信号特性がシステム性能に与える影響について扱っている。ウクライナは、I/Q信号の直交性の崩れ(Quadrature impairment)を取り上げ、DVB-TとDVB-T2システムに与える影響について調査した結果を5.6.1節に記載することを提案した。

3番目の文書(6A/240)は、5.6.2節への入力である。ウクライナは、移相ジッタがDVB-TとDVB-T2システム性能に与える影響として、位相雑音とBERの関係を調査し、その結果を5.6.2節に記載することを提案した。

最後の文書(6A/241)は、3.6節への入力である。DVB-T2システム上でMPEG-2 TSに関する測定を行い、各測定項目(SAR、SDR、SIR)とBERの関係を求めた結果を記載した。この節の題目「MPEG-2TSレベルでの品質要求条件の決定」が最初の文書(6A/238)に記載の3.6節の題目「MPEG-2TSの技術的な品質評価」と異なっていることが指摘された。

英は、豪のレポートITU-R BT. 2252に審議(6A/214)と比較し、ウクライナの提案する新レポートがMERでなく、I/Q信号の直交性の崩れを取り上げていることに疑問を呈し、さらに、10年以上前から知られている内容であり、新レポートとするのはふさわしくないとした。

豪の提案により、次会合までに本寄書(6A/238, 6A/239, 6A/240, 6A/241)の内容を各主管庁に問うことを議長レポートに記載することを提案した。

SWG議長は「近年の測定器ではMERの結果を通じてデジタルTVネットワークの歪の詳細な解析ができるが、このウクライナの文書はMERに関する記述はなく何年も工学書で繰り返されてきたような記述のみであり、この文書が放送業界にどのような役に立つかわからない。」というコメントを用意した。

放送事業者に役立つものかを確認するため、ウクライナの4つの文書をまとめて1つの作業文書としたものを議長レポート添付とするとともに、上記コメントを議長レポートと議長レポート添付の前書きに記載することを審議し、承認した。

OSFN

・レポート改訂案ITU-R BT.2209

入力文書：6A//233（日本）

出力文書：6A/TEMP/87（SG6送付）

審議結果：

レポートITU-R BT.2209「ISDB-T方式のSFN受信と標準受信機特性のための計算モデル」は、勧告ITU-R BT.1368 では対象とされていないSFN受信に関する詳細な計算モデルをISDB-Tについて記述するものである。日本が2010年4月会合で入力して作成されたものである。

日本(6A/233)は、レポート化後の継続検討で得た有用な情報を反映する提案をした。多波のSFN受信、SFN環境下の隣接チャンネル干渉耐性などを検討したものである。

改訂案として承認し、SG送付とした。

・大規模DVB-T SFNにおける送信機IDの利用

入力文書：6A/221（伊）

出力文書：（議長レポート記載）

審議結果：

2012年10月会合において、2012年4月会合の議長レポート添付(6A/73/Annex8)にあった新レポート草案BT. [DTTBCELLID]「DVB-Tの大規模SFNにおける送信機識別の利用」（DVB-T信号中のTransmission Parameters Signaling(TPS)に送信所(セル)IDを埋め込むことでエリア内におけるSFNとマルチパスを識別する方法を示す)について審議し、すでに2012年4月会合で一部主管庁から懸念が提示されていた受信障害について複数の寄書(6A/104、6A/128、6A/158)で再確認し、SFN網での伝搬の調査に異なるセルIDを使用する手法を使うのは受信障害発生の危険を伴うと結論するとともに、今後審議しない旨を前回議長レポート(6A/73)に記載していた。

しかし、伊(6A/221)は、DVB-TのSFNにおいて異なる送信機IDを設定した場合について、伊で昨年販売された受信機を用いて行ったテスト結果を報告した。length indicatorsが異なる場合に問題が検出されたが、送信機の設定が間違っているときのみ起きる事象であって、SFNにおいて異なるCell IDを使うことで問題は起きないとし、この検討の完了のため特別なラポータグループを作ることを提案した。

英は、たとえ規格があつたとしても、市販受信機で問題が生じるのは問題とした。SWG議長は、議長レポートに伊の提案の説明とラポータグループ設立を要望していることを記載し、次の会合までに寄与文書を求めることとした。文案は次のとおり：「この件は、前会合ですでに議論したことであり、前回の議長レポート(6A/170)に記載されている。今会合での結論は、情報が不足していること、ラポータグループを設置する前に他の主管庁の視点での評価も必要であることをあげる。ITUメンバにこの件の寄与を求める」。

文案を承認し、議長レポートに記載することとした。

○受信機

- ・DTMB（6MHz）に関する室内実験結果

入力文書：6A/246（中国）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

中国(6A/246)は、中国方式地上デジタル放送DTMBの6MHz受信機に関して、中国が市販の受信機の最新の特性を求めるために、レポートITU-R BT.2035-2「DTTBシステム評価ガイドライン」に従って2012年5月～8月に実施した室内実験の結果を報告した。

中国は、情報として提供とした。

ZDFは勧告ITU-R BT.1368の更新に有用ではないかとコメントしたが、中国は次回寄与を検討するとし、今会合ではNotedとした。

○測定方法

- ・DVB-T2における様々な変調パラメータや受信環境でのC/N測定

入力文書：6A/252（NDR/ZDF）

出力文書：（議長レポート記載）

審議結果：

NDR/ZDF（6A/252）は、DVB-T2における様々な変調パラメータや受信環境でのC/N測定について紹介し、その内、時間変動レイリーフェージングに関する部分を勧告ITU-R BT.2033「VHF/UHF帯第2世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」の第1.6節と、レポートBT.2254「DVB-T2の周波数・ネットワークプランニングの概況」の第2.2.5節へ追加することを提案した。

IRT社が行った、AWGN環境、静的レイリーフェージング環境、時間変動レイリーフェージング環境での所要C/Nを求める室内実験について、測定方法と結果を示したものである。

SWG議長は、ここではNotedとするが、次会合までに更新して既存レポートに反映できるよう修正する提案を求めることを、次のように議長レポート本文に記載するとした：「この課題の重要性は理解するが、測定サンプル数が限られており、今後のサポート結果を求める。よって、他の主管庁の寄与を求め次会合に継続したい」。

議長レポートに記載する文案として承認した。

○電波伝搬

- ・既存勧告を適用できない伝搬に関する適切な情報

入力文書：6A/181（JTG 4-5-6-7）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

JTG 4-5-6-7（6A/181）は、WP3Kにリエゾン文書を送り、2013年7月の第3回JTG4-5-6-7会合で議論するために、2013年7月22日までに、UHF帯における移動業務と他の1次業務との共用検討に関する伝搬モデルの検討、特に移動業務と放送業務との共用に関する伝搬モデルの検討を求めた。WP6Aへは関連するとしてWP3M、WP5D、WP5Bとともに情報提供した。

WP3KとWP3M（4-5-6-7/12）は、JTG 4-5-6-7の2012年7月会合において、WRC-15議題1.1及び1.2の共用検討に使用できるものとして、伝搬に関する2つの勧告（勧告ITU-R P.1812と勧告ITU-R P.2001）の開発を伝えるとともに、関連するリエゾン文書のリストを提供していた。また、WP3M（4-5-6-7/13）は、干渉計算や共用検討に使用する伝搬モデルに関するハンドブックの開発を伝えていた。

SWGは、WP3Kに送られたものであり、WP6Aへは情報として送付されたものであるため、Notedとした。

・短期干渉信号の相関

入力文書：6A/198（WP3K）

出力文書：6A/TEMP/101（リエゾン文書）

審議結果：

WP3K（6A/198）は、WP6Aが短期干渉信号の相関に関する研究の進捗の更なる情報の提供を求めて送付したリエゾン文書（3K/34）にで応えたものである。

入力文書では、WP6Aは、WP3Kの測定結果（6A/162）は（その周波数や伝搬環境など）放送業務が検討しているものと前提条件が異なるとし、放送業務ではST61、GE84、GE06等で規定されている条件で数十年にわたり検討を続けていること、放送との共用検討では遠くの大電力の送信局からの干渉や逆に近い場所に設置された基地局からの干渉を考慮する必要があること、複数の干渉信号からの干渉を扱う場合は最悪値で検討すべきであることなどを述べていた。

これに対し、WP3Kは、瞬時変化する複数の干渉信号の取り扱いについて、レスポンスグループ 3K-4（CG3K-4）で検討した結果を伝えた。その中で、複数の干渉信号を総合的に扱った場合の干渉信号の振幅の算出について、一般的な手法と簡易的な手法の2つを推奨する方法として示した。

一般的な手法は、相関係数を与えてより厳密に計算するものであり、簡易的な手法は、全干渉信号に相関があるものとして単純にその電力を加算する（WP6Aはこの計算）ものである。ここで簡易的な手法では修正時間率（「1%時間」として「1.75%

時間」の値)を適用した。WP3Kは、CG3K-4 で広範な検討により導かれたもので妥当であり、この結果をよく検討してほしいとした。

仏や英は妥当なものとし、さらに英は一般的な手法が適用できるとした。

そこで、Free TVなどの提案により、WP3Kにリエゾン文書を送り、一般的な手法に関する詳細情報やWP3Kの検討結果を求めることとした。

仏がJTG 4-5-6-7 への送付を提案したが、送付先はWP3Kだけとし、JTG 4-5-6-7 からWP3Kへのリエゾン文書(6A/181)を参照し、JTG 4-5-6-7 への応答を含む内容とした。連絡先をEBU(Sami氏)とし、リエゾン文書の送付を承認した。

○その他

・ 無人航空機システムへの干渉

入力文書：6A/178 (WP5B)

出力文書：6A/TEMP/95 (リエゾン文書)

審議結果：

WP5B(6A/178)は、無人航空システムの地球局(受信)と放送業務(送信)との共用検討を行うWRC-15 議題 1.5 の責任グループであるため、その検討にあたり、12.2-12.5GHz帯放送業務システムの技術的特性の提供をWP6Aに求めた。

ZDFがリエゾン文書はアクションを求めているとしたため、リエゾン返書を用意することとした。レバノン、1998年に策定された衛星及び地上放送のETSI規格があるので、その情報を提供するのがよいとした。

作成されたリエゾン文書案は承認され、連絡先をBBC(Shaw氏)とした。

・ ラジオマイクと携帯音声リンクの技術的特性

入力文書：6A/255 (ZDF)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

ZDF(6A/255)は、SAB/SAP(放送補助業務、番組制作補助業務)のユーザーとメーカーの団体であるAPWPTから提供された、UHFのテレビ周波数帯で運用されている、または、近い将来、運用が予定されているSAB/SAPの技術の最新情報を提供した。

ZDFは、他で議論するので、SWG 6A-1 ではNotedでよいとした。

Notedとした。なお、SWG 6A-3 で審議し、出力文書(6A/TEMP/102:勧告改訂草案ITU-R BT.1871「ワイヤレス・マイクロフォンのユーザー要求条件」)を作成。

3.2 保護(SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、19 件の入力文書について審議し、2 件のリエゾン文書と 3 件の議長レポート添付文書を作成した。なお、ドラフティンググループは次のとおりである。

SWG2 DG1	コグニティブ無線システム	議長： Lashkevich氏 (露)
SWG2 DG2	ITU-Tへリエゾン文書 ・有線/無線通信システムの共存 ・ J.HiNoCとG.fast基準の有線システムの 課題	議長： Shaw氏 (BBC)

○コグニティブ無線システム (CRS)

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]「470-790MHz帯におけるコグニティブ機器から放送サービスへの干渉検討」に向けた作業文書

入力文書：6A/170/Annex 8（前回議長レポート）、
6A/211（CBS）、6A/226（露）

出力文書：6A/TEMP/108

審議結果：

前回会合の議長レポート（6A/170/Annex 8）は、2012年4月会合で露から提案された新レポート草案ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]に向けた作業文書に対して、前回会合における米の反論が議長レポートに添付されたものである。米は、露によるDVB-Tとコグニティブ無線機器の干渉検討結果に対して、勧告SM.2152 のコグニティブ無線機器の定義を踏まえた対応が必要であること、また、米の保護基準が、露の主張する基準よりも緩やかであるがテレビを保護するのに十分であることを主張している。

入力文書（6A/211）でCBSは、DTTB System A（ATSC）とコグニティブ無線機器との干渉検討結果、コグニティブ無線機器からCATV網や受信機への干渉に関する情報を同新レポート草案に追記することを提案している。CBSは、カバーエリアのエッジでの複合干渉については考慮していないこと、露が採用しているモンテカルロ法ではなく標準偏差を用いて評価したことを説明した。米国は、CBSの検討は制限された仮定のもとに行われているため、これによって保護基準が決定されることには注意が必要であると指摘した。

入力文書（6A/226）で露は、コグニティブ無線機器からCATVへの干渉評価結果、ITU-RレポートBT.2265 を用いたDVB-Tとコグニティブ無線の必要な離隔距離と混信保護比に関する検討結果を同新レポート案に反映することを提案している。CRが無線通信規則（RR）で規定されていないにも関わらず混信

保護基準としてI/N=-10dBを用いている点について、露は最悪ケースを想定したためと説明した。

米、露など 10 名程度のドラフティンググループで、前回議長レポート、CBS提案、露提案のマージ作業が行われ、新レポート草案として議長レポート添付された。

・ WP1A、WP1Bへのリエゾン返信文書 「コグニティブ無線における今後の研究に関する情報提供」

入力文書：6A/172 (WP5C)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

本入力文書は、WP5CからWP1A、WP1Bに送付されたリエゾン返信文書の情報共有であり、WP5Cにおける固定サービスに特化したCRSの検討状況を説明したものである。特にコメントなくNotedとした。

・ リエゾン文書 「コグニティブ無線について」

入力文書：6A/179 (WP5A)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

入力文書 (6A/179) は、WP5AからWP6Aに送付されたリエゾン返信文書であり、WP6Aが求めている干渉評価に使用できる陸上移動業務用CRS装置の動作特性や技術的パラメータに関する情報を現時点では提供できないとしている。今後、WP5Aから更なる寄与を待つとしてNotedとした。

・ リエゾン文書 「コグニティブ無線における今後の研究について」

入力文書：6A/188 (WP5D)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

入力文書 (6A/188) は、WP5DからWP6Aに送付されたリエゾン返信文書であり、IMTシステム上のCRSに関する運用的・技術的な仕様限定して研究を進めているため、陸上移動業務上でのCRSについては情報を提供できないとしている。特にコメントなくNotedとした。

○IMT干渉評価

- ・ 新レポート草案ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] 「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価に対する勧告

BT.1895 とレポートBT.2265 の適用例」

入力文書：6A/217 (Rai Way S.p.A)

出力文書：6A/TEMP/77

審議結果：

本入力文書は、勧告BT.1895 による地デジ保護基準と、2012 年 10 月会合で成立した新レポートBT.2265 に記載された干渉評価手法（モンテカルロ法）を用いた調査により、分配用広帯域アンプで発生する 3 次歪の影響を含むLTE 干渉を評価したものである。

本会合では議論が深まらなかったため、新レポート草案として議長レポート添付とし、更なる検討を行うこととなった。

- ・新勧告草案ITU-R BT.[HEAD-AMP]「放送業務への干渉検討のための柱上に設置する増幅器」

入力文書：6A/216 (Rai Way S.p.A)

出力文書：6A/TEMP/78

審議結果：

本文書は、IMTとの共用を考慮する場合、受信機本体のみならず、ヘッドアップに与える影響も考慮すべきとして、干渉検討時に使用するヘッドアンプのモデルを提案するものである。

英は、同軸ケーブル分配を扱う案件の勧告化の議論は、IECなど外部の機関との関係があるため注意深く扱うことが必要で、勧告化は望ましくないとコメント。新勧告/レポート草案に向けた作業文書として、議長レポート添付することとなった。

○無線通信システムと有線システム間の干渉

- ・リエゾン文書「無線通信と、有線ブロードバンドネットワーク及びケーブルテレビネットワークに接続された機器またはケーブルとの間での干渉に関するSG5 の活動」

入力文書：6A/190 (ITU-T SG5)、6A/247 (SG6 RG PLT Issues)

出力文書：6A/TEMP/106 (リエゾン文書)

審議結果：

入力文書 6A/190 は、PLTやケーブルテレビなどの有線ネットワークから無線通信への影響を軽減するための技術に関する勧告草案K.mhnに関する進捗と、PLT関連の課題についての報告であり、有線通信に影響を与えないような無線通信の出力などに関する勧告 ITU-T K.60 についてのコメントを、次回のITU-T SG5 会合（2013 年 11 月）までに求めている。

BBCのShaw氏をDG議長として、有線・無線通信システムとの共存に関するITU-T SG5 とITU-R WP1Aへのリエゾン文書の作成を行った。この中で、K.mhnの課題の一つである携帯電話からDVB STBへの干渉に関する干渉のメカニズムや影響軽減技術は重要であり、この点に関してSG6 との協力関係を維持できると述べている。また、K.60 に関する更なる情報とレビューへの参加の許可を求めている。リエゾン文書案は承認された。

- ・ ITU-R WP1A,5A,5B,5Cへのリエゾン返書「PLTを含む有線通信から無線通信への影響について」

入力文書：6A/194 (ITU-T SG9)、6A/247 (SG6 RG PLT Issues)

出力文書：6A/TEMP/107 (リエゾン文書)

審議結果：

入力文書 6A/194 は、ITU-T SG9 が所掌するケーブルネットワークの新勧告及び作業文書に関するSG6 への情報提供であり、新勧告ITU-T J.195.1 (J.HiNoC-req) が承認の最終段階にあること、J.HiNoC-PHY及びJ.HiNoC-MACの2つの作業文書が審議中であることを伝えている。

BBCのShaw氏をDG議長として、入力文書 6A/194、6A/247 で言及されているJ.HiNoCとG.fastに従って開発される有線通信システムの課題について、WP1Aに対するリエゾン文書を作成した。G.fastについては、80MHzから430MHzに周波数が拡大することなどへの懸念を示した。また、J.HiNoCについては、1200MHz以下の周波数帯で 16MHzのチャンネルを使ってHDTVを伝送するとしているが、TVやCATVへ干渉を与える懸念を示した。リエゾン文書案は承認された。

○その他

- ・ 勧告ITU-R BT.1895「放送業務の保護基準」のタイトル修正案

入力文書：6A/170/Annex 3 (前回議長レポート)、6A/197 (Italy/Vatican)、6A/205 (NABA)、6A/207 (CBS)、6A/212 (WBU)、6A/215 (USA)

出力文書：議長レポート記載

審議結果：

前回会合の議長レポート (6A/170/Annex3) は、ITU-R勧告BS/BT.1895「放送業務の保護基準」のタイトルを「保護基準」から「ガイドライン」に変更する提案であり、前回会合で米から寄与されたが新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] (レポートBT.2265 として成立) の審議を優先し継続審議 (議長レポート添付) となったものである。

入力文書 6A/197、205、207、212 で、伊/バチカン、NABA、CBS、WBU がタイトルの変更提案に反対を表明している。

入力文書 6A/215 で米は、過去にWP6Aが本勧告をガイドラインとして用いるよう記載し作成した 2 つのリエゾン文書を引用して、本勧告が間違っ利用されることを避けるためにタイトルを変更すべきと主張している。

伊/バチカン、イラン、露、NABA、CBS、WBU、BBC等は、本勧告がタイトルを含めて長い議論を経て、妥協の結果、合意されたものであり、再度議論する有効な理由が見つからないと主張した。一方で、米は自国の主張を取り下げなかった。多くの反対があり議論が収束しなかったため、タイトルを変更しないとす内容を議長レポートに記載することになった。

- ・ 勧告ITU-R M.1841-1 「87-108MHz帯のFM音声放送と 108-117.975MHzの地上航空無線航行との両立性」

入力文書：6A/199 (SG5)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

本文書は、勧告ITU-R M.1841-1 が改訂されたことを知らせるものであり、改定内容はGBASのカバレッジ高度を 30mから 585mへの修正である。

特に、コメントはなくNotedされた。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では他の業務との共用に関する審議を行った。3つのDG (ドラフティンググループ)、さらにDG1の下に5つのSDGを作成した。

6A3-1	WRC-15 議題 1.1	議長： R.Bunch氏 (豪)
DG 6A3-1A	新レポート草案に向けた作業文書「第 1 地域にの 694-790MHzにおける地上放送の周波数要求」	議長： D.Hemingway氏 (英)
DG 6A3-1B	移動アップリンクと地上デジタル放送の隣接帯両立性	議長： J.Carrascosa氏 (仏)
DG 6A3-1C	技術および運用パラメータ	議長： T.Vieracker氏 (独)
DG 6A3-1D	「WRC-15 議題 1.2 におけるSAB/SAPパラメータ	議長： M.Fehr氏 (独)
DG 6A3-1E	決議および勧告関連検討の作業計画の更新	議長： D.Barrett氏 (Free TV Australia)
DG 6A3-2	共用検討のための方法	議長： J. Carrascosa氏 (仏)

DG 6A3-3	共用検討の特性とパラメータ	議長：T.Vieracker氏 (独)
SWG6A-3	その他 ¹	

25 回のセッションを開催し、30 件の入力文書を審議し、11 件の出力文書を作成した。

(1) WRC-15 議題

○放送業務の周波数要求

- ・JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する放送業務の周波数要求」

入力文書：6A/170/Annex10（前回議長レポート）、6A/177（WP5A）、6A/183（JTG4-5-6-7）、6A/201（NABA）、6A/218（伊・バチカン）、6A/222（伊・バチカン）、6A/223（伊・バチカン）、6A/237（RCC）、6A/242（WRC15 議題ラポータグループ）、6A/245（EBU）

出力文書：6A/TEMP/110（リエゾン文書）

審議結果：

第 1 地域の主管庁に送られた現在から将来にかけてのテレビ放送での周波数の必要性に関するアンケートの回答の分析結果が説明され、多くの主管庁が 224MHz 以上(470-694MHz)を将来に渡って必要と回答したことが報告された。アンケートの分析結果を含む放送の周波数の必要性について、JTG4-5-6-7 に対するリエゾン文書(TEMP/110)が作成され、承認された。

- ・新レポート草案「第 1 地域における 694-790MHz の地上放送のための周波数要求」に向けた作業文書

入力文書：6A/170/Annex10（前回議長レポート）、6A/237（RCC）

出力文書：6A/TEMP/111

審議結果：

前回の議長レポートにリエゾン文書に記載したアンケート結果を追記し、RCC加盟国の情報更新を行った。新レポート草案「第 1 地域における 694-790MHz の地上放送のための周波数要求」として、SG6 へ送付することが承認された。

¹ 分配された寄与文書 6A/229, 6A/251 はSG6 で審議されることとなったため実質的な会合は開かれなかった。

OWRC-15 議題 1.2 における地上デジタル放送の隣接帯両立性

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 におけるIMTアップリンクと地上デジタル放送の隣接帯の両立性」

入力文書：6A/191 (WP5D)

出力文書：6A/ TEMP/104 (リエゾン文書)

審議結果：

WRC15 議題 1.2 に関するJTG4-5-6-7 からのリエゾン文書 (5D/219) に対するWP5Dのコメント返書について、WP6Aとして追加で情報を提供するリエゾン文書を作成し、承認された。リエゾン文書では、TV受信システムにフィルタ挿入が必要であり、前回のJTG5-6 で示した通り、移動業務の帯域外放射が最小化される必要があるとした。一方で、フィルタ挿入が全面的な解決策として一般化されるべきではないとした。リエゾン文書案は承認された。

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 における広帯域移動アップリンクと地上デジタル放送の隣接帯の両立性」

入力文書：6A/182 (JTG4-5-6-7)

出力文書：6A/ TEMP/105 (リエゾン文書)

審議結果：

JTG4-5-6-7 がWP6AとWP5Dに求めている広帯域移動アップリンクと地上デジタル放送との隣接帯の両立性の検討におけるMBBの帯域外放射の制限値の妥当性確認に関するリエゾン文書へのコメント返書を作成した。勧告BT.1368 にあるLTE-UEとDVB-T、DVB-T2、ATSCとの混信保護比、過入力しきい値の表が記載された。リエゾン文書案は承認された。

○技術および運用パラメータ

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 における放送業務と移動業務の両立性検討のための地上デジタル放送の技術および運用パラメータ」

入力文書：6A/185 (JTG4-5-6-7)、6A/210 (CBS)、
6A/225 (Free TV)、6A/253 (NDR、ZDF)

出力文書：6A/ TEMP/114 (リエゾン文書)

審議結果：

IMTへの周波数割当の検討に利用可能な、技術基準、運用基準、利用可能な既存のITU勧告などの情報をJTG4-5-6-7 に提供するリエゾン文書の作成にあたり、4 つの寄与文書 6A/185、210、225、253 をマージしたリエゾン文書案を作成し、審議を行った。審議のなかで、共用検討で使用する放送システムの各種パラメータとして、DVB-T,DVB-T2、ATSC以外にISDB-Tの情報も記載した

方が良いとの提案があり、次回SG6 会合を目途に寄与文書提出を検討することとなった。なお、次回SG6 会合の開催（11 月）までにJTG4-5-6-7 会合は7 月と10 月に2 回開催され、IMTと放送業務を含む既存業務との共用検討が行われることから、JTG4-5-6-7 会合へ直接寄与することも検討する必要がある。リエゾン文書案は承認され、JTG4-5-6-7 へ送付されることとなった。

OWRC-15 議題 1.2 におけるSAB/SAPパラメータ

・ WRC-15 議題 1.2 におけるSAB/SAPパラメータ

入力文書：6A/184（JTG4-5-6-7）、6A/250（BBC）、
6A/254（ZDF）、6A/255（ZDF）

出力文書：6A/ TEMP/109（リエゾン文書）

審議結果：

JTG4-5-6-7 からのSAB/SAPのパラメータ情報提供の要請（6A/184）に基づき、リエゾン返書案が作成された。TEMP文書には3つのAttachmentが作成され、それぞれ、以下の通りとなった

Attachment 1：“Technical characteristics of typical radio microphones and portable audio links”（典型的な無線マイクと移動音声リンク：6A/255をもとに作成）

Attachment 2: “Co-existence parameters for SAB/SAP”（SAB/SAPとの共存のためのパラメータ：6A/250をもとに作成）

Attachment 3:” Documents from Region 1 CEPT, which may be of use to JTG4-5-6-7 when considering co-existence parameters for SAB/SAP”

（SAB/SAPと共存のための第1地域、CEPTからのパラメータ。6A/250をもとに作成）リエゾン文書案は承認された。

OWRC-12 決議および勧告関連検討の作業計画の更新

・ WRC-12 決議および勧告関連検討の作業計画の更新

入力文書：6A/170/Annex13（前回議長レポート）、
6A/176、6A/192、6A/193、6A/243

出力文書：6A/TEMP/113

審議結果：

WP6AがConcerned Party, Inerestead PartyになっているWRC-15 議題 1.1, 1.2, 1.3, 1.14, 1.15, 1.16, 1.17, 9.1.8 の作業計画について更新を行った。更新は主にAnnex 2 のDVB-Tと他の業務の両立性検討に関する記述についてである。

(2) 共用検討のための方法

○レポートBT.2247-1「DTTB（地上デジタルテレビジョン放送）とIMT（国際移動通信）の両立性に関する野外測定と分析」の改訂提案

入力文書：6A/170/Annex7（前回議長レポート）、6A/235（日）

出力文書：6A/TEMP/103（SG6へ送付）

審議結果：

日本から寄与を行った、レポート BT.2247（地デジとIMTの共用検討）に日本国内の700MHz帯における地デジとIMTの検討結果（情通審）を追記する改訂提案について審議を行った。寄与文書のIMTのパラメータについて、米・独がWP5Dへ確認する必要があるとあり、それまでレポート追記は待つべきと主張したが、日本は、国内の検討結果であり、WP5Dへの確認は不要と主張。イラン、露、英、ブラジルなどが日本の主張を支持した。その他、各国から受信フィルタやガードバンドに関する質問、干渉検討にあたり非常に有用な寄与文書であるとのコメントがあり、反響が大きかった。審議の結果、前回議長レポート Annex7 と一部エディトリアルな修正を行った日本寄書（ISDB-TとIMTの干渉検討）を合わせた文書をDTTBのシステム毎にチャプターを分けて記載し、レポートBT.2247-1（地デジとIMTの共用検討）の改訂案「Draft revision to Report ITU-R BT.2247-1」として承認され、SG6に送付された。

(3) 共用検討のための特性とパラメータ

○共用検討のための特性とパラメータ

- ・勧告BT.1871の改訂提案「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」

入力文書：6A/219（豪）、6A/225（Free TV Australia）、6A/255（ZDF）

出力文書：6A/TEMP/102（リエゾン文書）

審議結果：

勧告BT.1871は、アナログ／デジタルワイヤレスマイクのユーザー要求条件として典型的なパラメータを規定している。しかし実際には、放送の帯域に割り当てられたワイヤレスマイクの利用について、その運用のランダム性を長期間容認してきた経緯がある。豪の寄与文書では、勧告BT.1871を見直し、ユーザー要求条件を最適化することで、174-230MHz、520-694MHz、1785-1800MHzでワイヤレスマイクがアナログ放送終了後も利用できる様にすべきと提案している。また、勧告改訂についてIECにリエゾン文書を送付し、国際的な製品の調和を目指したいとしている。ZDFの寄与文書は、SAB/SAPのユーザーとメーカーの団体であるAPWPTから提供されたもので、UHFのテレビ周波数帯で運用されるまたは、近い将来、運用が予定されているSAB/SAPの技術の最新情報を提供するものである。審議の結果、二つの寄与文書をマージし、IECに対し送付するリエゾン文書案と勧告改訂草案として議長レポート

添付し、次会合の寄与を求めることとなった。

(4) その他

- ・周波数要求を検討するラポータグループ関連

入力文書：6A/229（周波数要求RG）、6A/251（EBU）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：2つの入力文書はSG6で審議されるとして、実質的な審議は行われなかった。

3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG 6A-4では、非常災害時の放送の重要性に関するラポータの設置やアナログ放送からデジタル放送への移行に関するレポートの改訂提案等に関する審議を行った。

18件の入力文書を審議し、出力文書は6件（レポート改定案やリエゾン文書など）であった。

○非常災害時の放送の重要性

- ・非常時の情報提供における地上放送の重要性のラポータ設置

入力文書：6A/186（ITU-T FG-DR&NRR）、6A/201（NABA）

6A/204（WBU）、6A/209（CBS）、6A/218（Rai Way）

6A/222（伊）、6A/260（ITU-T FG-DR&NRR）

出力文書：6A/TEMP/79、6A/TEMP/81

審議結果：

非常災害時の地上放送の重要性に関するラポータが設置され、次会合に寄与を求めることとなった。審議の中で福島の大震災に関するコメントもあり、日本からの寄与も期待されている。ラポータの付託事項（6A/TEMP/79）が作成され、ラポータは、Lynn Claudy氏(NAB)とGray Stanley氏(Babcock)となった。また、“自然災害軽減のための電気通信”を検討するITU-D SG2 に対して、WP6AがQuestion ITU-R 118-1/6 (Broadcasting means for public warning, disaster mitigation and relief.)をもとに作業を行い、災害時の放送の重要性に関するレポート案作成を周知する文書(6A/TEMP/81)が作成された。

なお、災害における放送に関するワークショップが次回WP6AとSG6 会合の間の日(2013年11月21日)に開催される予定。

○地上デジタル放送への移行

- ・レポートITU-R BT.2140-「アナログからデジタルへの地上放送の移行」の改訂案

入力文書：6A/200（ルワンダ）、6A/213（豪）

出力文書：6A/TEMP/80（SG6へ送付）

審議結果：

ルワンダのデジタル移行（Doc.200）や豪のアナログ跡地利用等に関する情報更新（Doc.213）の寄与文書を元に、レポートBT.2140の改訂案を作成し、SG6へ送付した。

○聴覚障害者向け無線通信装置

- ・障害者の生活向上を促進するためのICTの役割

入力文書：6A/173（WP5B）、6A/174（WP5A）、6A/187（ITU-T SG16）

6A/189（JCA-AHF）、6A/261（事務局長）

出力文書：6A/TEMP/112

審議結果：

ITUの事務局からITU-Rの各SGへの障害者の生活向上を促進する為の無線通信サービスの役割に関する寄与文書（Doc.261）に対して、SG6としての回答案を作成。WP6B, 6Cに確認してSG6へ送付することとなった。

○その他

- ・ICTの定義

入力文書：6A/180（SG6議長）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

入力文書（6A/180）は、“ICT”という用語の作業定義（検討作業中の定義）の推敲に関するコレスポネンスグループについて、SG6議長からWP6A、6B、6Cに対して、このコレスポネンスグループへ直接参加し、寄与を求めるリエゾン文書。情報として紹介された。

- ・ITU-Rオピニオンを廃止する提案

入力文書：6A/195（伊）

出力文書：6A/TEMP/83

審議結果：

Doc.195（イタリア）の寄与文書をもとに、SG6所掌のITU-Rオピニオンの内、15-3（Broadcasting in the 26 MHz band）と16-3（Organizations qualified to set standards on sound and television broadcasting）の削除が合意された。

- ・ ITUデータベースへの放送業務関連用語定義の追加提案

入力文書：6A/202（CCV に関するSG 6 レポート）

出力文書：6A/TEMP/82

審議結果：

SG6 レポートからの寄与文書をもとに審議。WP6AとしてCCVの前回会合以後に承認された新勧告や勧告改訂で取り上げられた新しい用語から、Silicon tunerとCan tunerの2語を特定し、その定義と定義作成に使用した勧告のリストを作成した。

- ・ Status of Texts

入力文書：6A/206（BR）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

入力文書（6A/102）は、BRが作成したWP6A、WP6B、WP6C所掌の研究課題、勧告、レポート等の文書リストであるStatus of Textsを紹介するものである。情報として紹介された。

4. あとがき

今会合で、日本は、地上放送に関して 6 件の寄書（新勧告草案の修正案 1 件、新勧告草案に向けた作業文書の修正案 1 件、勧告改訂案 2 件、新レポート草案に向けた作業文書の修正案 1 件、レポート改訂案 1 件）、共用に関して 1 件の寄書（レポート改訂案）を入力した。

1 件は、前会合の報告で注視すべきとして挙げたものであり、地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性に関する新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]への対応であった。入力したISDB-Tに関する特性が承認され、SG6 に送付された新勧告案に反映された。

2 件は、継続対応の案件である。携帯端末向け地上マルチメディア放送のプランニング基準の新勧告に関しては、前会合で見直したGeneralに記載のプランニング基準の定義に従い、Annex 2（ISDB-Tマルチメディア）の標準受信機特性を定義し、同一チャンネル混信保護比と最小電界強度を修正した。韓国提案のAnnex1（T/AT-DMB）の修正とともに新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]として議長レポートに添付となった。ISDB-Tの中継局ネットワーク構築に関する新レポートに関しては、残務としていた中継システムのリンク品質や回線設計などの追記を行った。衛星による番組配信を行っている主管庁からの寄与を求めため継続審議を求めたことにより、新レポート草案BT.[ISDB-T_RELAY]として議長レポートに添付となった。

2 件の勧告改訂案は、いずれも勧告改訂草案として議長レポート添付となった。地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準勧告ITU-R BT.1368 の改訂案は、ISDB-T 6MHzの隣接混信保護比の値を修正する提案である。提案は問題なく承認となったが、勧告ITU-R BT.1368 は前会合で改訂されたばかりであることから、次会合まで保留（勧告改訂草案）となった。特定スペクトル制限マスクの勧告ITU-R BT.1206 を参照する、地上デジタルテレビジョン放送の伝送システムに関する勧告ITU-R BT.1306 の改訂案は、中国の異議により審議保留となり、次会合での新しい寄与とともに再審議されることとなった。

2 件のレポート改訂案は承認され、SG6 に送付された。ISDB-TのSFN受信に関する詳細な計算モデルを記述するレポートBT.2209 に、多波のSFN受信など継続検討の結果を反映した。また、地デジとIMTの共用検討に関するレポートBT.2247 に、情通審の 700MHz帯を使用する移動通信システムと地デジの干渉検討結果をISDB-TとIMTの共用検討として追記した。

その他、前会合報告で新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]とともに注意すべきとした、音声・テレビジョン・マルチメディアといった様々な地上デジタル放送を 1 つにまとめた新レポート案ITU-R BT.[DTB]の審議は、ラポータグループによる修正を反映し、検討を継続することとなった（作業文書として議長レポート添付）。

次会合に向けた課題としては、次の事項が想定される。

- ・ 携帯端末向け地上マルチメディア放送のプランニング基準の新勧告承認に向けてISDB-Tマルチメディア放送の隣接混信保護比等の入力を完了する。
- ・ 勧告ITU-R BT.1306 の改訂案承認に向け、中国との合意形成などの活動を行う。
- ・ 様々な地上デジタル放送をまとめた新レポート案に向けた作業文書のドラフト作業を行うラポータグループへの参加を継続する。
- ・ 災害時の放送の重要性について新たにレポートを作成する事になり、日本からも東日本大震災の経験を含めた「災害時の放送の役割」について、次回会合での入力を求められている。

以上

表 1 日本からの出席者 (5 名)

氏名	所属
山内 匠	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
久代 雄一郎	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
河村 高登	日本放送協会 技術局 計画部
古田 浩之	日本放送協会 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 主任研究員
実井 仁	日本放送協会 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 専任研究員

表 2 入力文書 (全 108 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/170	Chairman, WP 6A	Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 17-29 October 2012)	SWG 6A-1	—
2	Annex1	Chairman, WP 6A	LIST OF INPUT DOCUMENTS (Documents 6A/73 -169)	—	—
3	Annex2	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[DTV RX] Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/100
4	Annex3	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R BS./BT.1895 Guidelines to assess the effect of radiations and emissions into Protection criteria for terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-2	Text
5	Annex4	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[ETMMPLAN]	SWG 6A-1 DG1	6A/98
6	Annex5	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1735 Methods for objective reception quality assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of System B specified in Recommendation ITU-R BT.1306	SWG 6A-1	6A/84
7	Annex6	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2252 Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A and B	SWG 6A-1	6A/86
8	Annex7	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO REPORT ITU-R BT.2247 Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT	SWG 6A-3 DG2	6A/103
9	Annex8	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ASSESSDTTB CRS] Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG 6A-2 DG1	6A/108
10	Annex9	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTB] Digital terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/91
11	Annex10	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1	SWG 6A-3 DG1A	6A/110

12	Annex11	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ISDBT_RELAY]	SWG 6A-1	6A/88
13	Annex12	Chairman, WP 6A	ESTABLISHMENT OF A RAPPORTEUR GROUP FOR THE DEVELOPMENT OF PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTB] Digital terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/91
14	Annex13	Chairman, WP 6A	UPDATES TO WORK PLAN FOR STUDIES RELATED TO WRC-12 RESOLUTIONS AND RECOMMENDATIONS	SWG 6A-3 DG1E	6A/113
15	Annex14	Chairman, WP 6A	LIST OF LIAISON STATEMENTS	—	—
16	Annex15	Chairman, WP 6A	LIST OF OUTPUT (TEMP) DOCUMENTS (Documents 6A/TEMP/41 – 6A/TEMP/76)	—	—
17	6A/171	WP 5C	Liaison statement to ITU-R Working Parties 3L, 3B and 6A - Future revision of Recommendation ITU-R P.842	SWG 6A-1 DG1	6A/97
18	6A/172	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B (for information to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D on further studies on cognitive radio systems (CRS))	SWG 6A-2 DG1	Note
19	6A/173	WP 5B	Liaison statement to Working Party 5A, 1A, 1B, 5C and 6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	SWG 6A-4	Note
20	6A/174	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 5B, 5C and 6A (copy to ITU-T FG-AVA, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ETSI ERM TG 17, JCA-AHF) - Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing	SWG 6A-4	Note
21	6A/175	WPs 5A, 5B and 5C	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 4C, 5D, 6A, 7C and 7D (copy to ITU-R Working Party 3L and to ITU-T Study Groups 5, 9 and 15 for information and/or action if any)	SWG 6A-2	Note
22	6A/176	WP 5A	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties (4A, 4B, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, 1A, 3K, 3M) for information) - WRC-15 Agenda item 1.1 - Sharing considerations for the 5-6 GHz frequency range for WRC-15 Agenda item 1.1	SWG 6A-3 DG1E	Note
23	6A/177	WP 5A	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties (4A, 4B, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, 1A, 3K, 3M) for information) - WRC-15 Agenda item 1.1 - Working Party 5A initial information on spectrum requirements studies for WRC-15 Agenda item 1.1	SWG 6A-3 DG1A	Note
24	6A/178	WP 5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 6A - Studies of potential for interference from broadcasting systems into unmanned aircraft systems in the 12.2 to 12.5 GHz frequency band	SWG 6A-1	6A/95
25	6A/179	WP 5A	Liaison statement to Working Party 6A on cognitive radio systems (CRS)	SWG 6A-2 DG1	Note
26	6A/180	Chairman, SG 6	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 on the elaboration of a working definition of the term "ICT"	SWG 6A-4	Note
27	6A/181	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 3K (copy to Working Parties 3M, 6A, 5D and 5B for information) - Appropriate propagation information where a current Recommendation may not seem to be wholly applicable	SWG 6A-1	Note
28	6A/182	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Parties 5D and 6A (copy to Working Party 1A for information)	SWG 6A-3 DG1B	6A/105

			- Adjacent band compatibility between the mobile broadband uplink and digital terrestrial television broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2		
29	6A/183	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 6A - Spectrum requirements for the broadcasting service under WRC-15 Agenda item 1.2	SWG 6A-3 DG1A	6A/110
30	6A/184	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 6A - SAB/SAP parameters for sharing studies under WRC-15 Agenda item 1.2	SWG 6A-3 DG1D	6A/109
31	6A/185	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Study Groups 4, 5, 6 and 7 and Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D as concerned Groups for WRC-15 Agenda item 1.1 - Preparations for WRC-15 Agenda item 1.1 - Technical and operational characteristics	SWG 6A-3 DG1C	6A/114
32	6A/186	ITU-T FG-DR&NRR	Reply liaison statement on the IRDR project	SWG 6A-4	Note
33	6A/187	ITU-T SG 16	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5A on technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range	SWG 6A-4	Note
34	6A/188	WP 5D	Liaison statement to Working Party 6A on further studies on cognitive radio systems (CRS) (copy to Working Parties 1B, 5A and 5C)	SWG 6A-2 DG1	Note
35	6A/189	ITU-T SG 16	Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	SWG 6A-2, SWG 6A-4	Note
36	6A/190	ITU-T SG 5	Study Group 5 activities related to interference between radio signal and device or cable connected to wired broadband networks and cable television networks	SWG 6A-2	6A/106
37	6A/191	WP 5D	Liaison statement to JTG 4-5-6-7 on adjacent band compatibility between the IMT uplink and digital terrestrial television (DTT) broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2 (copy to Working Party 1A and Working Party 6A for information)	SWG 6A-3 DG1B	6A/104
38	6A/192	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, (WPs 1A, 3K, 3M)) - Suitable frequency ranges above 6 GHz	SWG 6A-3 DG1E	Note
39	6A/193	WP 5D	Liaison statement to JTG 4-5-6-7 (copy to Working Party 4A, Working Party 4B, Working Party 4C, Working Party 5A, Working Party 5B, Working Party 5C, Working Party 6A, Working Party 7B, Working Party 7C, Working Party 7D, Working Party 1A, Working Party 3K, Working Party 3M) FURTHER ELABORATION ON SUITABLE FREQUENCY RANGES AND THEIR SUITABILITY WRC-15 AGENDA ITEM 1.1	SWG 6A-3 DG1E	6A/113
40	6A/194	ITU-T SG 9	Reply LS to ITU-R Working Party 1A and Working Parties 5A, 5B and 5C on impact from wired telecommunication (including PLT) on radiocommunication systems	SWG 6A-2	6A/107
41	6A/195	Italy	Proposal to suppress all the ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6	SWG 6A-4	6A/83
42	6A/196	Italy , Vatican City State	Basic desirable functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG 6A-1	6A/92, 6A/93
43	6A/197	Italy , Vatican City State	Proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895	SWG 6A-2	Text
44	6A/198	Chairman, WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - Report on the work of Correspondence Group 3K-4 concerning the correlation of short term interfering signals	SWG 6A-1, SWG 6A-3 DG2	6A/101
45	6A/199	SG 5	Recommendation ITU-R M.1841-1	SWG 6A-2	Note
46	6A/200	Rwanda	Transition from analogue to digital broadcasting in Rwanda	SWG 6A-4	6A/80

		(Republic of)			
47	6A/201	North American Broadcasters Association (NABA)	The important of radio and television broadcasting for emergency communications to the public	SWG 6A-4	6A/79
48	6A/202	SG 6 Rapp. to the CCV	Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database	SWG 6A-4	6A/82
49	6A/203	High Frequency Co-ordination Conference	Future revision of Recommendation ITU-R P.842	SWG 6A-1 DG1	6A/97
50	6A/204	World Broadcasting Unions - Technical Committee	Support for NABA on the importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public (copy to WP 6A for information)	SWG 6A-4	6A/79
51	6A/205	North American Broadcasters Association (NABA)	Support for Italy and Vatican City State on the proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895	SWG 6A-2	Text
52	6A/206	BR Study Group	Status of texts	SWG 6A-4	Note
53	6A/207	C.B.S., Inc.	Proposal to change the title of Recommendation ITU-R BS.1895 and ITU-R BT.1895 - Protection criteria for terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-2	Text
54	6A/208	C.B.S., Inc.	Draft new Recommendation ITU-R BT.[DTV RX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/100
55	6A/209	C.B.S., Inc.	Support to the NABA contribution on broadcasting's importance to public safety in times of emergency	SWG 6A-4	6A/79
56	6A/210	C.B.S., Inc.	Liaison statement to JTG 4-5-6-7 - Technical and operational characteristics of terrestrial television broadcasting for sharing and compatibility studies under WRC-15 Agenda item 1.1	SWG 6A-3 DG1C	6A/114
57	6A/211	C.B.S., Inc.	Addition to preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG 6A-2 DG1	6A/108
58	6A/212	World Broadcasting Unions - Technical Committee	Support for reservations on the proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895	SWG 6A-2	Text
59	6A/213	Australia	Proposed revision to Report ITU-R BT.2140-5 - Transition from analog to digital terrestrial broadcasting	SWG 6A-4	6A/80
60	6A/214	Australia	Revisions to Recommendation ITU-R BT.1735-1 and additions to Report ITU-R BT.2252	SWG 6A-1	6A/84, 6A/86
61	6A/215	United States of America	Editorial revision of Recommendations ITU-R BS.1895 and ITU-R BT.1895	SWG 6A-2	Text
62	6A/216	Rai Way S.p.A.	Proposed preliminary draft new Recommendation ITU-R BT. [HEAD-AMP] - Masthead amplifier reference model to be used for the assessment of interference into the broadcasting service	SWG 6A-2	6A/78
63	6A/217	Rai Way S.p.A.	Proposed preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] - Example of application of Recommendation ITU-R BT.1895 and Report ITU-R BT.2265 to assess interference to the broadcasting service caused by the impact of IMT systems on existing head amplifiers of collective television distribution systems	SWG 6A-2	6A/77
64	6A/218	Rai Way S.p.A.	Support to Document 6/106 (6A/201) on the importance of radio and television broadcasting for emergency	SWG 6A-4	6A/79

			communications to the public		
65	6A/219	Australia	Proposed revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-3 DG3	6A/102
66	6A/220	Vatican City State, Italy	Field trial in Rome on the possible use of the DRM+ system in VHF Band II to migrate the FM sound broadcasting service to digital technology	SWG 6A-1 DG1	6A/96, 6A/99
67	6A/221	Italy	Case study: usage of transmitters identification in large scale DVB-T Single Frequency Network	SWG 6A-1	Text
68	6A/222	Italy, Vatican City State	Support to Document 6/106 (6A/201) - The importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public	SWG 6A-4	6A/79
69	6A/223	Italy, Vatican City State	Liaison statement to JTG 4-5-6-7 - WRC-15 Agenda item 1.1: The crucial importance of the residual UHF band for the terrestrial platform for television broadcasting	SWG 6A-3 DG1A	6A/110
70	6A/224	Korea (Republic of)	Proposed updates to working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG 6A-1 DG1	6A/98
71	6A/225	Free TV Australia Ltd.	Planning parameters for digital television broadcasting using terrestrial channels - Aspects of the planning of digital terrestrial television broadcasting service which require consideration in sharing studies	SWG 6A-3 DG3	6A/114
72	6A/226	Russian Federation	Material for modification of draft Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG 6A-2 DG1	6A/108
73	6A/227	Russian Federation	Proposed revisions to preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/100
74	6A/228	Russian Federation	Measurements of DRM coverage area in the medium- frequency band in the day-time, night-time and in the fading zone	SWG 6A-1 DG1	6A/96, 6A/99
75	6A/229	RG on spectrum requirements	Rapporteur Group on spectrum requirements for the future of the broadcasting Service Progress report	SWG 6A-3	Note
76	6A/230	Japan	Proposed modification to preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/100
77	6A/231	Japan	Proposed modifications to Recommendation ITU-R BT.1368-10 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/85
78	6A/232	Japan	Proposed modification to a working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN]	SWG 6A-1 DG1	6A/98
79	6A/233	Japan	Proposed revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system	SWG 6A-1	6A/87
80	6A/234	Japan	Proposed modifications to Recommendation ITU-R BT.1306-6 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	SWG 6A-1	6A/89
81	6A/235	Japan	Proposed modifications to Report ITU-R BT.2247-1 - Study on interference between ISDB-T and IMT in the 700 MHz band	SWG 6A-3 DG2	6A/103

82	6A/236	Japan	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction technique of DTTB relay station network for ISDB-T	SWG 6A-1	6A/88
83	6A/237	Regional Commonwealth in the Field of Communications	Proposals for inclusion into preliminary draft new report "Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1"	SWG 6A-3 DG1A	6A/111
84	6A/238	Ukraine	Proposition on working document to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/90
85	6A/239	Ukraine	Proposed Section 5.6.1 of working document to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/90
86	6A/240	Ukraine	Proposed Section 5.6.2 of working document to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/90
87	6A/241	Ukraine	Proposed Section 3.6 of working document to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/90
88	6A/242	RG for WRC-15 related studies	Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 Agenda item 1.2	SWG 6A-3 DG1A	6A/110
89	6A/243	RG for WRC-15 related studies	Rapporteur Group to undertake WRC-15 related studies called for by CPM15-1	SWG 6A-3 DG1E	6A/113
90	6A/244	European Broadcasting Union	Proposals regarding the preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/100
91	6A/245	European Broadcasting Union	WRC-15 Agenda item 1.1 - Proposed liaison statement from WP 6A to WP 5D (copied to JTG 4-5-6-7)	SWG 6A-3 DG1A	6A/110
92	6A/246	China (People's Republic of)	Laboratory test results for DTMB receiver in 6 MHz bandwidth	SWG 6A-1	Note
93	6A/247	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunication systems	SWG 6A-2	6A/106, 6A/107
94	6A/248	France	Update on work towards a modification to Recommendation ITU-R BS.412-9 - Planning standards for terrestrial FM sound broadcasting at VHF - Measurement results on the protection levels against interferers with exceeded MPX power in the FM sound broadcasting	SWG 6A-1 DG1	6A/94
95	6A/249	Digital Radio Mondiale	Progress on implementing the DRM system for the transition to digital sound broadcasting	SWG 6A-1 DG1	6A/96, 6A/99
96	6A/250	British Broadcasting Corporation (BBC)	WRC-15 Agenda item 1.2: Proposed liaison statement to JTG 4-5-6-7 on co-existence parameters for SAB/SAP	SWG 6A-3 DG1D	6A/109
97	6A/251	European Broadcasting Union	Frequency bands allocated to broadcasting services	SWG 6A-3	Note
98	6A/252	Norddeutscher Rundfunk (NDR), Zweites	DVB-T2 C/N measurements for a set of parameter settings and different reception conditions	SWG 6A-1	Text

		Deutsches Fernsehen			
99	6A/253	Norddeutscher Rundfunk (NDR), Zweites Deutsches Fernsehen	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Technical characteristics and other technical issues for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 Agenda item 1.1	SWG 6A-3 DG1C	6A/114
100	6A/254	Zweites Deutsches Fernsehen	LTE interference potential INTO SAB/SAP systems - A study	SWG 6A-3 DG1D, DG2	6A/109
101	6A/255	Zweites Deutsches Fernsehen	Notes on technical characteristics of typical radio microphones and portable audio links	SWG 6A-1, SWG 6A-3 DG1D, DG3	6A/102
102	6A/256	Rwanda (Republic of)	Worldwide broadcasting roaming	SWG 6A-1	Note
103	6A/257	RG for Development of DTB Report	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/91
104	6A/258	ITU-D SG 2	Liaison Statement on broadcasting industry and regulators facing both opportunities and challenges in dealing with the transition from analogue to digital broadcasting	SWG 6A-4	Note
105	6A/259	BR Study Group Department	List of documents issued (Documents 6A/170 - 6A/259)	—	—
106	6A/260	ITU-T FG-DR&NRR	Status report of the Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR)	SWG 6A-4	6A/81
107	6A/261	Note by the Secretary General	ICT sectorial consultation on the role of ICTS to promote the inclusion of persons with disabilities - Request for inputs from relevant ITU-R Study Groups	SWG 6A-4	6A/112
108	6A/262	WP 6C	Liaison statement on the proposal for the revision of Report ITU-R BT.2249-2	—	—
	6A/263	Director, BR	Final List of Participants - Working Party 6A (Geneva, 16-24 April 2013)	—	—

(注) Note: 情報として取り扱った文書、C: 議長報告に添付、L: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、
Text: 議長報告本文に文章を記載

表3 出力文書一覧 (全 38 件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
1	6A/77	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] - Example of application of Recommendation ITU-R BT.1895 and Report ITU-R BT.2265 to assess interference to the broadcasting service caused by the impact of IMT systems on existing head amplifiers of collective television distribution systems	SWG 6A-2	6A/217	C Annex 7
2	6A/78	Proposed preliminary draft new Recommendation/Report [HEAD-AMP] - Masthead amplifier reference model to be used for the assessment of interference into the broadcasting service	SWG 6A-2	6A/216	C Annex12
3	6A/79	Establishment of a Rapporteur on the importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	SWG 6A-4	6A/201 6A/204 6A/209 6A/218 6A/222	C Annex16
4	6A/80	Proposed revision to Report ITU-R BT. 2140-5 - Transition from analog to digital terrestrial broadcasting	SWG 6A-4	6A/200, 6A/213	SG
5	6A81	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 (copy for information to ITU-T FG-DR&NRR) - Development of an ITU-R Working Party 6A Report on the importance of radio and television broadcasting for emergency information to the public	SWG 6A-4	6A/260	L
6	6A/82	Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU Terminology Database	SWG 6A-4	6A/202	SG
7	6A/83	Proposal to suppress ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6	SWG 6A-4	6A/195	SG
8	6A/84	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R BT.1735 - Methods for objective reception quality assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of system B specified in Recommendation ITU-R BT.1306	SWG 6A-1	6A/170/Ann5, 6A/214	C Annex 3
9	6A/85	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-10 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/231	C Annex 4
10	6A/86	Updates to preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2252 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of systems A and B	SWG 6A-1	6A/170/Ann6, 6A/214	C Annex11
11	6A/87	Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system	SWG 6A-1	6A/233	SG
12	6A/88	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction technique of DTTB relay station network for ISDB-T	SWG 6A-1	6A/170/Ann11, 6A/236	C Annex 8
13	6A/89	Proposed modifications to Recommendation ITU-R BT.1306-6 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	SWG 6A-1	6A/234	C Annex 5
14	6A/90	Working document toward preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/238, 6A/239, 6A/240, 6A/241	C Text Annex13
15	6A/91	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/170/Ann9, 6A/170/Ann12, 6A/257	C Annex14
16	6A/92	Establishment of a Rapporteur Group on main functionalities of	SWG 6A-1	6A/196	C

		consumer receivers for Worldwide Broadcasting Roaming			Annex17
17	6A/93	Draft revision of Question ITU-R 136/6	SWG 6A-1	6A/196	SG
18	6A/94	Draft revision of Report ITU-R BS.2213 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF	SWG 6A-1	6A/248	SG
19	6A/95	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Studies of potential for interference from broadcasting systems into unmanned aircraft systems in the 12.2 to 12.5 GHz frequency band	SWG 6A-1	6A/178	L
20	6A/96	Establishment of a rapporteur group to study the digital sound broadcasting systems, implementation cases and transition policies	SWG 6A-1	6A/220, 6A/228, 6A/249	C Annex18
21	6A/97	Liaison statement to Working Party 3L (copy to Working Party 5C) - Proposed amendment to Recommendation ITU-R P.842	SWG 6A-1 DG1	6A/171, 6A/203	L
22	6A/98	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN]	SWG 6A-1 DG1	6A/170/Ann4, 6A/224, 6A/232	C Annex 2
23	6A/99	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG 6A-1 DG1	6A/220, 6A/228, 6A/249	C Annex15
24	6A/100	Draft new Recommendation ITU-R BT..[DTV RX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/170/Ann2, 6A/208, 6A/227, 6A/230, 6A/244	SG
25	6A/101	Draft liaison statement to Working Party 3K - Response to the Report on the work of correspondence Group 3K-4 concerning the correlation of short term interfering signals	SWG 6A-1	6A/198	L
26	6A/102	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-3	6A/219, 6A/255	C Annex 6
27	6A/103	Draft revision to Report ITU-R BT.2247-1 - Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT	SWG 6A-3	6A/170/Ann7, 6A/235	SG
28	6A/104	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Adjacent band compatibility between the IMT uplink and digital terrestrial television (DTT) broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2 (copy to WP 1A and WP 5D for information)	SWG 6A-3	6A/191	L
29	6A/105	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Adjacent band compatibility between the mobile broadband uplink and digital terrestrial television broadcasting under WRC-15 Agenda item 1.2	SWG 6A-3	6A/182	L
30	6A/106	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 and ITU-R Working Party 1A (Copy to ITU-R Working Parties 1C, 5A, 5B and 5C for information) - Coexistence of wired and wireless communications systems	SWG 6A-2	6A/190, 6A/247	L
31	6A/107	Liaison statement to Working Party 1A (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B and 5C and ITU-T Study Groups 5, 9 & 15) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.FAST and J.HINOC	SWG 6A-2	6A/194, 6A/247	L
32	6A/108	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG 6A-2	6A/170/Ann8, 6A/211, 6A/226	C Annex 9
33	6A/109	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - SAB/SAP parameters for sharing studies under WRC-15 Agenda item 1.2	SWG 6A-3	6A/184 6A/250 6A/254	L
34	6A/110	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Spectrum requirements for the broadcasting service under	SWG 6A-3	6A/170/Ann10 6A/183	L

		WRC-15 Agenda item 1.2		6A/223 6A/242 6A/245	
35	6A/111	Preliminary draft new Report - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1	SWG 6A-3	6A/237	C Annex10
36	6A/112	Reply from Study Group 6 to the Note by the Secretary-General	SWG 6A-4	6A/261	L
37	6A/113	Draft revision to Work Plan for studies related to WRC-12 Resolutions and Recommendations	SWG 6A-3	6A/170/Ann13 6A/193 6A/243	C Annex19
38	6A/114	Draft liaison statement from Working Party 6A to Joint Task Group 4-5-6-7 - Technical and operational characteristics of terrestrial television broadcasting for sharing and compatibility studies between the broadcasting service and the mobile service under WRC-15 Agenda item 1.1	SWG 6A-3	6A/185, 6A/210, 6A/225, 6A/253	L

(注) C: 議長報告に添付 L: リエゾン文書送付 SG: SG6 に送付 Text: 議長報告本文に文章を記載